

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	15110	電話	042-754-3604
担当部課名	生涯学習部	図書館		管理 係
事務事業名	施設維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	生涯学習の推進	63以前年度
施策名	第1施策	生涯学習機会の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

図書館法、市図書館条例、市図書館条例施行規則

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
循環型社会の実現と良好な環境の保全と創造をめざす市環境方針に基づき、「市施設において、省資源・省エネルギー、廃棄物の削減を推進」することを目標に、生涯学習を支援する「図書館」業務の推進施設として、適確で適正な施設の維持管理に努める。	図書館利用者、図書館職員 対象数 約30万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
市立図書館における施設内の省エネルギー行動の励行(部分消灯等による電気使用量の抑制、水資源である水道水の無駄のない有効利用、効率的・効果的な適正温度での冷暖房の実行など)、図書館不用本のリサイクル事業としての「くるくるブックフェア」の開催、市民相互の不用本交換の「市民リサイクルコーナー」の常設などを行い、その推進に努めた。 平成14年度施設維持管理費予算 50,124千円 内電気料 15,642千円 水道料 1,268千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 なし	なし
計画年次 年度～年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	電気料、水道料金の決算額増減率	本年度使用料金決算額÷前年度使用料金決算額*100 (別表のとおり)	省エネルギーの励行・実行による電気及び水道料金決算額の推移をみる	97	102	88	111	100
	電気使用量、水道使用量の増減率	本年度使用量÷前年度使用量*100 (別表のとおり)	省エネルギーの励行・実行による電気及び水道量の推移をみる	101	100	98	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	13,334	13,619	11,940	13,230	13,215
	人員・時間数	1.5時間・1日	1.5時間・1日	1.5時間・1日	1.5時間・1日	1.5時間・1日
	人件費	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	15,144	15,429	13,750	15,040	15,025
特定財源	0	0	0	0	0	
対象数	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	環境配慮、保護の観点から、省エネルギー行動を実行したが、施設の老朽化とあいまって、修繕に伴う経費(電気・水道量等)増もあり、各指標において数字的に見ると十分達成しているとはいえない。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 循環型社会の実現と良好な環境の保全と創造をめざす市環境方針のもと環境配慮、保護の観点から施設管理・清掃委託業者へも指示を行い、省エネルギー行動を実行しており、社会のニーズにもかなっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	本事業は、循環型社会の実現と良好な環境の保全と創造をめざす市環境方針のもと環境配慮、保護の観点から、省エネルギー行動を実行しているものであり、その実現のためにも有効である。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 省エネルギー行動を励まし実行していくものであるが、光熱水費等の予算化にあたって、その予算額決定においてより有効な予算化がされるよう、執行計画額をより精査して予算化するよう改善していく余地があると思われる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	本事業は、市環境方針のもとで環境配慮、保護の観点から必要であり、利用者への働きかけ、PRはもとより全市民に対しても行っていく必要がある。なお、図書館資料の利用等については図書館法第17条により「無料」とされている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 施設老朽化に伴う適正な修繕計画と合わせ、全職員、施設管理委託業者及び修繕請負業者にも省エネルギー行動・対応をより徹底し、より精査して有効な省エネルギー対策の成果向上を図っていく。	手段	日常的には館内の不要な照明を消すなど、施設管理委託業者と連携し全職員にもより徹底した省エネルギー行動を行っていく。
		削減額	15 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 他市の類似規模の図書館(独立館)においての平成12・13年度での電気・水道使用量の増減率をみると横須賀市は「99」、平塚市は、「94」、大和市は、「93」となっており、本市と比較すると削減率は高いといえる。 (別表のとおり)
今後の進め方	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了・廃止済	総合評価に関する説明 昭和49年11月に市立図書館が開館して以来28年が経過し、施設老朽化に伴う修繕計画が必要である。こうした状況の中で施設修繕による光熱水費関係の使用量の増加も予想されるので、修繕請負契約時での配慮も含め、より徹底した省エネルギー行動を継続していく必要がある。

12 二次評価コメント

--